

# 全市一斉統一行動キャンペーン

11月の「子ども・若者育成支援強調月間」に合わせ、南区青少年指導員による「全市一斉統一行動キャンペーン」が10月～12月に実施しました。地域に密着した活動を目指し、各地区の行事で啓発活動を行いました。

永田みなみ台地区では、偶数月に開催されている地域の恒例行事「つながり祭」の会場にてチラシ等の配布を実施しました。お祭りの活気あふれる雰囲気の中、子どもたちや保護者、地域の方々と直接言葉を交わしながら配布を行うことで、地域の子もたちを地域で見守る大切さを改めてお伝えする貴重な機会となりました。



また、今回はイベント当日だけでなく、多世代が集う地域のサロン「ほっとサライ」にも啓発チラシを掲示させていただきました。

日常的に多くの住民が訪れる場所に掲示することで、お祭りに参加した方々だけでなく、高齢者から若者まで幅広い層の目に触れることができました。「老若男女を問わず、地域全体で青少年健全育成に関心を持ってもらう」という本キャンペーンの目的を、より深く地域に浸透させることができましたと感じています。

(伊東(由))



横浜市青少年指導員  
シンボルマーク



# みなみ青指だより

南区青少年指導員協議会

南区青指 🔍 検索



## 南区・御殿場 ふれあいキャンプ2025 大自然の中で広がった笑顔と絆

令和7年7月19日(土)～20日(日)の1泊2日、南区内の小学3年生から中学生83人が集まり、静岡県御殿場市の国立中央青少年交流の家で「ふれあいキャンプ」を開催しました。

初日は、緑に囲まれたフィールドでディスクゴルフに挑戦し、チームごとに食材カードを集めるフードハンティングラリーで大盛り上がり。集めた食材を使い、みんなで力を合わせてカレーを作る野外炊事に取り組みました。

夜のお楽しみは、みんなが心待ちにしていたキャンプファイヤー。今年は、事前に薪の組み方や火の扱い方を練習しており、本番ではその成果がしっかり発揮されました。きれいに組み立てられた薪が勢いよく燃え上がり、炎のまわりには歌やゲーム、笑顔の輪が広がりました。

2日目は、川のせせらぎと涼しい風の中で川遊び。水しぶきと笑い声があふれる、夏ならではのひとときとなりました。

今年は、高校生・大学生・社会人のボランティアスタッフ13人も参加し、子どもたちの引率や活動のサポートをしてくれました。頼もしいお兄さん・お姉さんの存在は、子どもたちにとって憧れや安心感につながり、世代をこえたつながりも広がりました。



このキャンプでは、普段接することの少ない他校の仲間や年齢の違う友だち、そして頼れるボランティアスタッフと過ごすことで、助け合いや思いやりの心が自然と育まれました。参加した子どもたちからは「また来たい!」「もっと遊びたい!」という声が多く聞かれました。

今年も、笑顔と友情があふれるキャンプをお楽しみに!

(森田)



## 編集委員



- 広報部会長  
北 永 田 地 区 加 藤 春 哉
- 広報部会員  
お 三 の 宮 地 区 岡 田 圭 司  
太 田 地 区 原 淳 一  
太 田 東 部 地 区 今 井 馨 太 郎  
寿 東 部 地 区 小 林 大 雅  
中 村 地 区 竹 尾 博 和  
蒔 田 地 区 畔 柳 邦 彦  
井 土 ケ 谷 地 区 門 井 由 美 子  
南 永 田 山 王 台 地 区 山 田 智 久  
永 田 みなみ台地区 伊 東 由 和  
六 ツ 川 地 区 森 田 裕 之  
六 ツ 川 大 池 地 区 青 木 慶 一  
本 大 岡 地 区 内 田 正 幸  
別 所 地 区 松 尾 英 司
- 広報部会担当役員  
六ツ川大池地区会長 伊 東 俊 一



編集発行/南区青少年指導員協議会  
事務局/横浜市内南区地域振興課内  
TEL 045(341)1238



## 編集後記



私事ですが毎朝5時ごろ、ゴハンのおねだりで叩き起こされる“ネコハラ”にあっています。他にも、パソコン作業や読書のジャマ、椅子やひざの上の占領。困るけれど微笑ってしまう小悪魔です。

保護動物の番組を見ていると、世の中不幸な動物たちが多くいるようで胸が痛みます。ウチのネコも、元は保護ネコ。悲しい過去があったようです。それでも、迎え入れてすぐに慣れて、甘えん坊の家族になってくれました。

運命の交差で出会った限りは、愛情をこめて生涯一緒に暮らしていく。すぐ横で“ヘソ天”で寝ているネコへの約束です。

(畔柳)

## 令和8年度上半期、青指行事予定

- 5月17日 南区青少年指導員協議会新任者研修会
- 6月頃 小中学校教諭との打ち合わせ会
- 7月 全市一斉統一行動パトロール活動
- 7月18日～19日 南区・御殿場ふれあいキャンプ2026

# 南区・御殿場 ふれあいキャンプ2025



**第1ブロック**  
 永田小学校 6年 榎ノ口 翔さん  
 てのくちかける  
 今回自分は2回目の参加でしたが、1回目  
 のときより笑いがあふれていた気がします。  
 けど少しだけうさかったかもしれない  
 です。けど青少年の人のおかげで、きれいな  
 富士山を見ることができました。なので、す  
 ばらしくて、少しくせになる楽しいキャンプ  
 でした!



**第3ブロック**  
 藤の木小学校 5年 福田 二菜さん  
 ふくだ にいな  
 私は南区・御殿場ふれあいキャンプで楽  
 しかったことが二つあります。一つ目は野外  
 炊事です。班のみんなで玉ねぎやにんじん、  
 じゃがいもを切ってカレーを作りました。み  
 んなで作ったカレーは格別でした。二つ目  
 は川遊びです。川の水はとても冷たかったの  
 ですが、友達と泳いだり浮いたりしたことが  
 とても楽しかったです。来年も参加したいと  
 思いました。

**第1ブロック**  
 六つ川小学校 6年 谷口 奈緒さん  
 たにくち なお  
 ふれあいキャンプ4年目、行ってきまし  
 た!今年もとても充実したキャンプでした。  
 私は川遊びを何より楽しみにしていたので、  
 準備をするときも、バスに乗っているときも  
 ずっとわくわくしていました。川で遊んだ後  
 も、昨年には無かったレクがあったり、スイ  
 カの解体ショー(!?)があったりと、とにか  
 くもりだくさんでした!夕飯のカレー作りで  
 は、料理が苦手でも、まっぼくり拾いで  
 チームに貢献することができました。中学に  
 入って忙しくなっても、また行きたいです。  
 絶対行きます。



**第2ブロック**  
 永田中学校 3年 佐藤 葵奈さん  
 さとう あいな  
 私は、このキャンプへの参加は、今年で4  
 回目になります。班ではリーダーになり、班  
 員の子とコミュニケーションをとりながら、  
 とても楽しい2日間を過ごすことができました。  
 初めてのディスクゴルフでは、3回でゴール  
 に入れることができ、うれしかったです。  
 野外炊事では、みんなで協力して、おいしい  
 カレーを作ることができました。  
 今年で参加者としては最後でしたが、高  
 1、高2と、ボランティアに参加したいと思っ  
 ています。また、よろしくお願いします。



**第3ブロック**  
 ボランティア 高3 兵藤 劼智さん  
 ひょうどう えいち  
 南区・御殿場ふれあいキャンプで一番心  
 に残っていることは、一日目夜のキャンプ  
 ファイヤーです。子どもが騒いで楽しむため  
 のものだったと思うのですが、途中から我を  
 忘れて誰よりもはしゃいでしまいました。あ  
 んなに恥ずかしさを捨てて子どもと一緒に、  
 子どものように楽しめる機会は意外とない  
 と思うので心の底から楽しんで良かったです。  
 来年も是非参加したいです。





作文朗読



# 第45回 ボイス・オブ・ユース 開催

## 青少年の主張



令和7年12月7日(日)にみなみ(南公会堂)で45回目を迎えた。オープニングでは神奈川県立横浜清陵高等学校吹奏楽部がサポートしながら運営を行いました。登壇された受賞者と朗読の発表者はハキハキとした感じがとても気持ちよく、来場者の皆様の拍手が印象深かった行事となりました。

となるボイス・オブ・ユース(青少年の主張)を開催しました。楽部の演奏もあり、南区に住む小中学生を青少年指導員と朗読の発表者はハキハキとした感じがとても気持ちよく、来場者の皆様の拍手が印象深かった行事となりました。

(岡田)



受付



司会



会場案内



神奈川県立横浜清陵高等学校吹奏楽部

オープニングアトラクション



運営ボランティアの皆さん

### 入選者感想文



#### 「正しい行動を」

六つ川台小学校 5年 齋藤 瑛汰さん

ぼくは、朗読とボランティアの司会をすることになり、たくさんの人の前で話す機会をいただき、とても良い経験になりました。

これからも思ったことや感じたことを伝えたり、積極的にボランティア活動に参加したいと思います。

#### 「楽しくスポーツをするために」

別所小学校 6年 古市 葵さん

とても緊張したけど、終わった後は達成感があって、ものすごくいい経験になりました。周りの人からは、おもしろい文章だねといってもらえてがんばってよかったなと思うことができました。

#### 「私の町の夏祭り」

永田中学校 2年 高原 心美さん

大勢の人を前にして最初は緊張しましたが、自分の町の良さをたくさんの人に伝えることができ良かったです。また、他の発表者の方の様々な視点からの意見が聞けて、とても面白く自分にとって貴重な経験になりました。

### 運営ボランティアへのインタビュー

運営に参加したボランティアの児童・生徒さんにインタビューをしました。

**Q1** 今回、運営ボランティアに参加しようと思ったきっかけは？

南吉田小学校 5年 馬場 詩文さん (受付・誘導)

自分自身が3年生の時に作文が受賞して今回は運営ボランティア側の立場で役に立ちたいと思いました。

**Q2** ボイスオブユースの運営を経験した上で自分から何を期待しますか？

六つ川中学校 2年 小野 涼太さん (受付・誘導)

来場された方々の案内を通じてコミュニケーションを図りたいです。

**Q3** 今回の運営ボランティアを経験して何か学んだり気づいた事はありますか？

平楽中学校 2年 瀬野 孔さん、  
小林 優梨香さん、  
能勢 歩和さん (司会)

いつもと違う場所で緊張したが、いい体験が出来たと思いました。

たくさんの人の前で司会は私自身、経験の少ない中でしたが楽しんで参加出来ました。



音響・照明



介添え

### 審査結果報告

テーマ	小学生		中学生・高校生・一般	
	応募数	うち入選数	応募数	うち入選数
災害時、自分たちは何が出来るか	139	6	272	3
もし自分が〇〇だったらこんなことをやりたい	80	6	197	7
自由課題	446	21	343	24
合計	665	33	812	34

作品集はこちら



(編)



表彰



表彰

おめでとうございます。

## 令和7年度 横浜市青少年指導員研修会

令和7年9月20日(土)13時30分～16時、港北公会堂にて曇天の今にも降り出しそうな空模様の中、今年度の横浜市青少年指導員研修会が開催されました。

オープニングは横浜市立樽町中学校和太鼓部の演奏にてスタートしました。和太鼓部のある中学校は珍しいと思いました。力強い堂々としたパフォーマンスで魅了されました。

開会式では当区の山崎会長が市の青少年指導員協議会副会長という立場で開会あいさつをしました。

その後、主賓として山中竹春市長にあいさつをいただき、市からの青指への大きな期待感が伺われました。

開会式が終了して今年度のホスト区、港北区の活動紹介が行われました。配布された広報紙を拝読していると私の所属地区のお祭りと同じ名前の祭りが掲載されていて稀有なこともあるものだと愉快的気持ちになりました。また当区と同様のカラー4ページの広報紙でしたのでレイアウトや表現方法を思わず比較してしまいました。

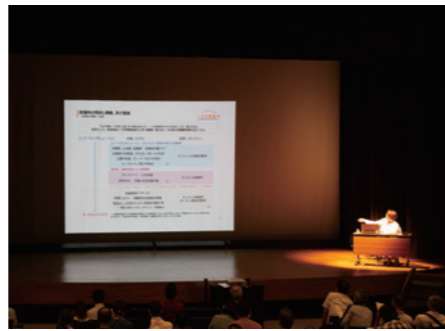
休憩をはさみ、南区子どもの居場所づくりネットワークアドバイザーで「子どもの未来サポートオフィス」代表の米田佐知子さんの「子どもの居場所から考える子ども・若者を見守る地域づくり」の講義を受けました。

タイトル通り子どもたちの様々な「居場所づくり」についての解説と我々大人が彼らと関わっていくとき、彼らに認められることがつまりは子どもたちが生きやすい「地域」となり、それが彼らの記憶に影響を与え「成長へ大きく貢献する」という内容でした。

「居場所づくり」の様々なサービス・公的支援は拡充しています。これらの活動は「子どもを気にかける大人」のつながりづくりにもなり、それぞれの大人が所属する「場」(=サービス・公的支援)同士のつながりへと発展し連携しチームとなり「見守る」地域力となる、と締めくくられました。

今回は我々の「居場所づくり」活動の理念の裏付けになると確信できる講義でした。

(加藤)



## 第13回 南区みなっちランニングフェスタ

南区スポーツ協会主催による「第13回南区みなっちランニングフェスタ」が、令和7年11月30日(日)に大岡公園で開催されました。当日は澄んだ青空のもと、ランニング日和に恵まれ、年中児から小学3年生までの親子が元気いっぱいに参加しました。親子で手を取り合いながらコースを走り、最後は笑顔でゴールを迎えました。

大会の運営には、南区青少年指導員協議会から山崎会長と6名の青少年指導員が協力し、子どもたちの挑戦を温かく支えました。

親子で参加するこのマラソンには、順位を競う以上の大切なものがあります。スタートから子どもの手を引き、励まし合いながら進む姿。疲れて立ち止まる子どもに寄り添い、もうひと踏ん張りを支える親の姿。そしてゴール直前、親が先に走っても必ず子どもを待ち、約束通り一緒にゴールする姿。そこには家族の絆と達成の喜びがあふれていました。



「一緒にゴールすること」がこの大会のルールであり、最高の思い出となります。参加した親子の笑顔は、公園いっぴいに温かな感動を広げていました。

(内田)



## 第56回 神奈川県青少年指導員大会

令和7年11月29日(土)、神奈川県青少年指導員大会が、茅ヶ崎市民文化会館で開催されました。オープニングは「フラ ハラウ カ ポリ オル オ マカナ」によるフラダンス。スタートは子どもたち。一糸乱れず素晴らしい!その後、大人たちの流麗なダンスで、大感動の幕開けです。

長年の功労を称える表彰式では、県内の指導員の皆さんへ感謝状の贈呈が行われました。

続いて講演…テーマ『世代を超えて、言葉を超えてあなたの笑顔が心をつなぐ。』講師はメンタル心理カウンセラー たき れいこ氏です。“皆さんは、子どもたちとの間で世代間ギャップを感じる事が多くなっていませんか?”との問い掛けから始まりました。そんなギャップを埋め、より良い関係を築く鍵は、我々の笑顔ですよ…と。いくつかのキーとなる“笑顔の作り方”を会場の我々と共に実演指導で紹介頂きました。“笑顔”と言っても、単に表情だけでなく心から発信できる“笑顔”って難しいですね。これからも、青少年たちの『笑顔と心の居場所作り』を目指して活動していこうと思いました。

最後に、伊勢原市と大磯町の活動事例発表です。

伊勢原市は、市内7地区より94名で活動しており、大山を頂点とする『自然豊かな緑、多くの神社仏閣、みかんやブドウなどの果樹、平野部の田園風景など、様々な顔を持つ』10万人都市で、各地区がそれぞれの特色を生かし、地域に愛着をもてる体験学習事業の実例紹介がありました。

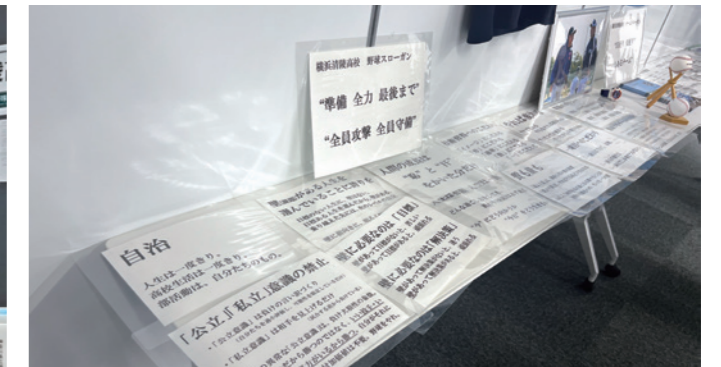
大磯町は、人口3万人ほどの『海と山と川に囲まれた小さな町』なんです。指導員も11人と多くない人数です…との紹介で始まりました。それでも大磯町全体の青少年を、指導員だけでなく地域の活動と協働して見守り、地域連携で活動している、その一つ“ぶちおおいそ”(子どもたちの職業体験事業)高校生とコラボしたダンス教室開催の紹介があり、自然豊かな環境を生かして子どもたちの経験を増やし、地域との連携と協働により多様多世代の繋がりを作ることを目指している…と自信溢れた紹介でした。

閉会にあたり、平塚市協議会会長より、次回開催地の川崎市協議会会長へバトンが引き継がれ、閉会のことばと共に会場割れんばかりの拍手で閉幕しました。

(伊東(俊))



## 令和7年度 南区青少年指導員協議会全員研修会



令和8年1月18日(日)10時から南区役所で開催しました。

今回は第97回選抜高校野球大会に21世紀枠として出場した神奈川県立横浜清陵高校野球部 野原 慎太郎監督を講師にお招きし、「横浜清陵高校野球部の取組」と題して高校の部活動全体の取り組み、野球部の取り組みを「生徒による部活動の自治」を中心にお話しされました。

野球部ではマネージャーの女子部員を含めた25人が主体的に話し合っ物事を決め、毎月開く「自治会議」で部門別にこの一か月を振り返り、課題や翌月の目標などについて部員全体で共有する。

自主性を重んじる部活動の原点は大学時代にある。出身校の東海大相模では「野球エリート」だが、進学先の横浜国立大は強豪校ではない野球部なので専任監督はおらず、指導者が仕事で部活に来られない日が多かった。チーム方針や幹部の選出、計画などすべて学生たちで議論して決めたという。

「自治会議」の議論している様子を実際の映像で流し、白熱した講義であったという間に時間が過ぎてしまいました。

最後に野原監督より、野球部の練習を遠慮なく見学していただきたいというお言葉を頂き、横浜清陵高校校長先生をはじめ青少年指導員55名の参加で大盛況で終了しました。

(青木)